

唯一完存。

明治五大監獄のひとつ

重要文化財

旧奈良監獄

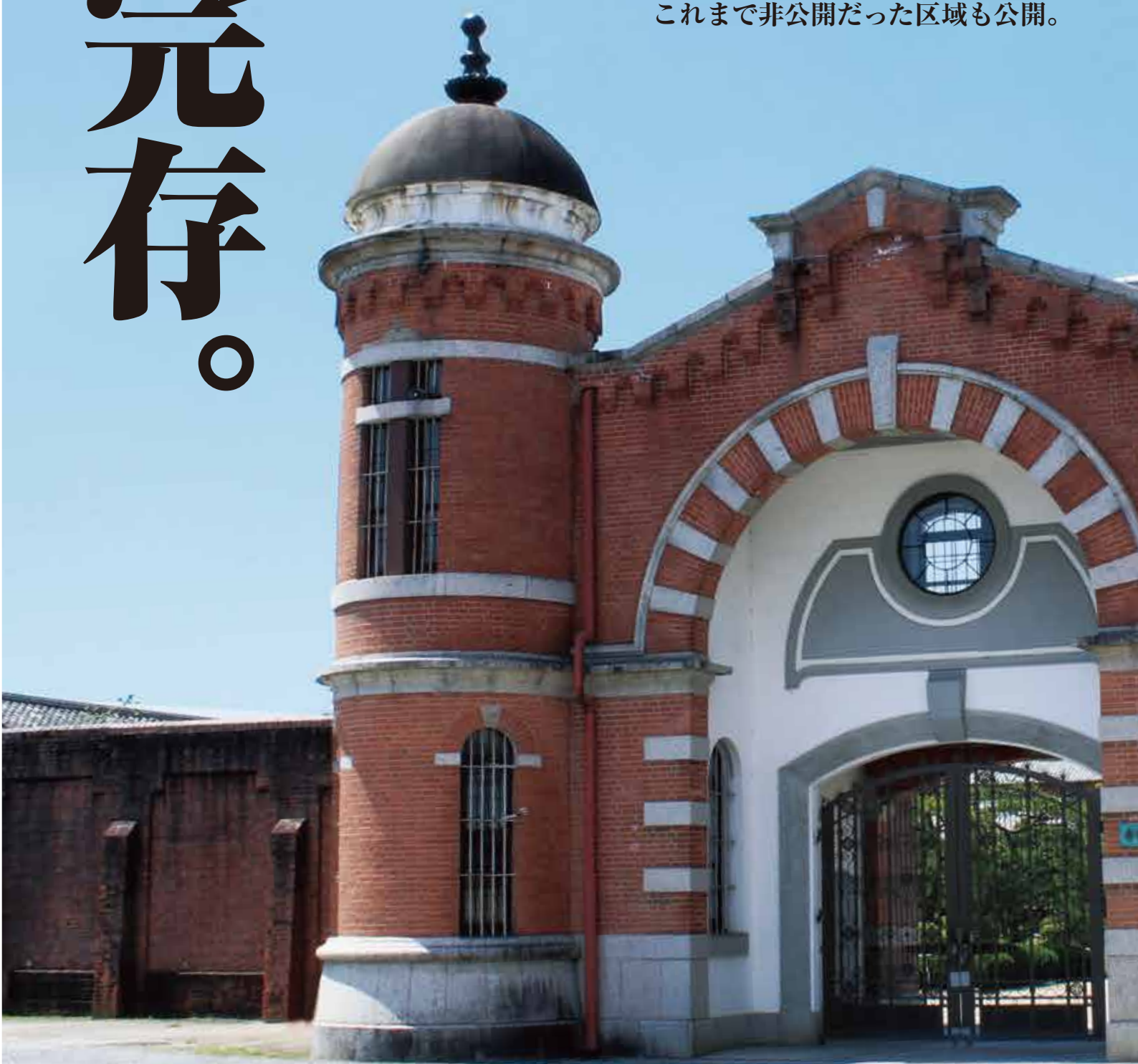
閉庁後、初の一般公開

7月16日(日)

1908年の完成から

109年目の今年、重要文化財に。

これまで非公開だった区域も公開。





明治政府が1908年に建設したれんが造りの建物、旧奈良監獄。明治の「五大監獄*」のうち、完存するのは奈良だけです。政府は、1910年の日英博覧会（ロンドン）に建物の模型を出展し、監獄施設の近代化を西欧社会にアピールしています。今では、日本の近代化の一側面を示す貴重な文化遺産として、重要文化財に指定されています。

今回は、庁舎、中央看守所、舎房、工場等を公開します。矯正展で未公開の区域も公開予定です。

* 五大監獄…奈良の他には千葉、長崎、鹿児島、金沢

- ①市内中高生限定見学会 1回目 午前10時～
(法務省の特別授業と記念品付) 2回目 午前11時～
- ◆定員は各回50人、1グループ25人程度としてガイドが引率します。
 - ◆各回とも開始30分前から表門周辺で受付を行います。
 - ◆事前申込制（市内在住・在学の中高生、市内在住・在勤の教員も対象）

- ②自由見学会 午後1時～5時
- ◆入場は午後4時半まで、事前申込は不要です。

- ③ガイド付き見学会 午後3時～
- ◆定員100人、事前申込制
 - ◆開始30分前から表門周辺で受付を行います。

- ④講演会 午後2時～

「赤れんがの監獄が物語る明治の近代化」
(講演者：京都工芸繊維大学 石田潤一郎 教授)

「(仮) 今後の保存・活用について」
(講演者：法務省担当者)

- ◆定員200人、講演時間は約60分を予定。事前申込制。
- ◆会場は中央建物2階の講堂です。
- ◆開始30分前から表門周辺で受付を行います。

【講師：石田潤一郎氏】



1952年鹿児島市生まれ。京都大学工学部建築学科卒業、同大学院博士後期課程修了。滋賀県立大学助教授等を経て、2001年から京都工芸繊維大学教授。工学博士。旧奈良監獄には2011年の調査から関わり、現在、保存活用事業事業者選定委員を務める。

【主催】奈良市、奈良市教育委員会、法務省 【後援】奈良県
【協力】NPO法人なら・観光ボランティアガイドの会
旧鍋屋連絡所の保存活用と”奈良きたまち”のまちづくりを考える会

重要文化財 旧奈良監獄 見学会

7月16日(日)

【事前申込について】

①③④は事前申込制です。メール、FAX又は往復はがき（6月1日の料金改定により124円）に参加希望プログラム名、参加者全員の住所、氏名、年齢、電話番号、FAXの場合はFAX番号を記入の上、下記の送付先まで。

6月30日(金) 必着

※申込多数の場合、抽選とします。

※抽選の有無に関わらず参加通知を送付します。(落選の場合も通知)

<送付先> 奈良市教育委員会文化財課
〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1-1
メール：bunkazai@city.nara.lg.jp
FAX：0742-34-4859

【アクセス】

近鉄奈良駅またはJR奈良駅から、「青山住宅行き」または「州見台八丁目行き」バスに乗り、「般若寺」バス停で下車し、徒歩3分。近鉄奈良駅から徒歩30分(約2km)

※駐車場はありません。公共交通機関でのご来場をお願いします。



※当日の午前8時に、奈良県北部に気象警報が発令されているときは、中止します。

【問合せ】奈良市教育委員会文化財課
TEL 0742-34-5369